

# 活動報告

## 勉強会や研修にも参加しています

議員に当選させていただき3年目となりました。当選させていただいたばかりのころから定期的に勉強会や研修に参加しています。

2016年末には同世代の議員仲間と合宿研修を行い、地域や日本の未来について考え、議論しました。また、2月と4月には、地域でオープンデータを活用した政策立案を行うために国が開発したRESAS(地域経済分析システム)の勉強会にも参加しました。

その他、会派での行政視察として、市街化調整区域の土地利用について千葉県佐倉市に、公共施設の管理について愛知県高浜市へ勉強に伺いました。

今後も、特に議会閉会中はアンテナを広く張り、調査研究に励みたく思います。



### インターン生ブログ公開中

島津明香 インターン



## 大学生の議員インターンシップ 定期的に受け入れています

大学生の長期休暇である8月・9月と2月・3月には、議員インターンシップとして大学生のインターン生を受け入れています。私自身もインターンシップを経験したことが政治に興味を持つきっかけとなったため、若い世代に少しでも政治とはどのようなものなのかを伝えることができると活動しています。

今春のインターン生には議会傍聴はもちろん、政治や税の勉強、政策提言、プレゼンテーションや街頭演説などを体験していただきました。今後も少しでも政治を身近に感じていただけるよう、取り組んでいきます。

## ご意見・ご要望をお聞かせください

### しまづはるか後援会

TEL/FAX:079-439-2733

電話番号が変わりました!

〒676-0071  
高砂市伊保東二丁目2-23

<http://shimazuharuka.com/>

E-mail: [shimazu.takasago@gmail.com](mailto:shimazu.takasago@gmail.com)

### 日々の活動をSNSやブログで発信しています

Facebookページ: 島津明香

@shimazu\_haruka

【ブログ】:しまづはるか活動報告 <http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987>



## しまづはるか 後援会報

14号 2017年春

平成29年度の予算を審議する3月定例会が2月27日から3月28日までの30日間の日程で行われました。平成29年度予算は「ふるさと力を高める予算」と位置づけられ、一般会計約330億円、全会計合わせると約760億の予算として提案されました。

今回の後援会報では3月定例会の議案質疑を中心に  
ご報告いたします。



## 平成29年度当初予算 議案質疑

子ども・子育て施策や若者施策、女性施策など提案された様々な事業の質問を行いました。質問の一部を紹介いたします。また、定例会中のブログでも日々の質疑内容を発信しています。

### ■子育て世代包括支援センター

平成29年度より、文化保健センター内に「子育て世代包括支援センター」が設置されます。妊娠期から出産、子育て期まで、包括して支援いただけるセンターです。

新たに10ヶ月児検診が開始されるなど魅力的な施策が予定されています。ただ、妊娠に至るまでも課題に直面することは多くあります。そのため、妊娠前の時期における妊活相談などにも対応いただけるのかについて質問しました。

保健師さんや助産師さんなど専門のスタッフがいらっしゃるため、不妊治療を含む妊活相談にも対応いただけるとのことでした。また、妊娠前の課題にも対応できることを市民の方々にも伝え、利用を促進したいとのことでした。

### ■スクールソーシャルワーカーの配置

平成29年度より、市内中学校に福祉の専門員であるスクールソーシャルワーカーが配置されます。拠点校方式がとられ、まずは3中学校とその校区の小中学校から導入され、来年度以降にその他の中学校区が導入される予定です。

生徒さん本人やその環境に歩み寄る支援を行っていただければと感じますが、すでに導入が進んでいる他のまちを調査すると、課題が発生した際に学校側がいかにスクールソーシャルワーカーさんにつなぐかが鍵となるとのことでした。そこで、学校側の対応について伺いました。

教職員の方に対してもスクールソーシャルワーカーについての手引書を作成し、理解を深めていただく方法がとられるとのことでした。しっかりと連携していただき、子どもたちの環境に対する福祉分野からのアプローチを強めていただきたいと思います。



# 代表質問

3月定例会では、会派を代表し、市長の施政方針に対する総括質問を行いました。市政全般の課題に対して、若い世代として伝えたいことも盛り込みながら質問しました。

市長の施政方針及び代表質問の質問と答弁の全文は定例会議事録・録画配信(市議会ホームページ)でもご覧いただけます。

## ■公共施設の総合管理について

### 質問

公共施設等総合管理計画の期間である40年間の社会情勢や環境変化について、どのように計画に反映させるのか。

### 答弁

20年後、30年後について人口以外の部分を想定することは難しいと考えている。想定される少子高齢化に対応できるように施設のあり方を検討するとともに、将来の市民ニーズの変化に柔軟に対応できるように、スケルトン・インフィル方式の導入も検討する。



## ■交流人口の増加について

### 質問

交流人口の増加について、観光以外に、他のまちから働きに来る方が多いという高砂市の特徴を活かすことは考えられないか。

### 答弁

稼ぐ力はあるが稼いだお金が効率よく地域内で使われる循環型経済になっていない点がある。地域経済の構造分析や地域経済のデザインについて、大学等の連携を活かして研究していきたい。



## ■子ども・子育て施策について

### 質問

子育て世代への施策はもちろん重要である一方で、子どもたち本人や若者本人と向き合う必要があるのではないか。

### 答弁

子どもたちの環境を整えるために、こども園や中学校給食センターなどの施設整備、3歳児教育の導入や小中一貫教育の展開を進めている。また、修学前から小学校・中学校にかけて、ふるさとへの愛着と誇りを育てる取り組みを進めている。若者については、Uターン支援も検討している。



## ■人口減少について

### 質問

平成27年に策定された人口ビジョンと比較し、目標よりも人口減少が進んでいるのではないか。また、市民の方々に現状を伝える必要があるのではないか。

### 答弁

市の少子高齢化は一層進んでおり、人口ビジョンの予測を上回っている。また、生産年齢人口の減少も進んでおり、市一丸となって取り組むとともに、市民の方々にも理解と危機感を伝えていきたい。



## ■ハード整備について

### 質問

平成29年度に策定が計画されている立地適正化計画はコンパクトなまちを目指すものであるが、高砂市はすでにコンパクトである。人口減少に応じたまちづくりをどのように考えているのか。

### 答弁

将来の需要予測を考慮しながら、社会情勢経済情勢の将来変動を考慮した計画を策定し、整備を行いたい。現在の市街地を有効に活用するまちづくりを考えていきたい。



## ■高砂市の未来と成長について

### 質問

人口減少という前例のない課題に取り組まなければならない現代では、「未来」や「成長」も高度成長期とは異なってくる。市長は市の未来と成長をどのように捉えているのか。

### 答弁

高砂市の未来は「生活文化都市」、成長とは「市民満足度の高い新しい高砂」と考えている。



## ■市の財政見通しについて

### 質問

施政方針にある「抑制すべきところは抑制し、・・・」とは具体的に何を指しているのか。また、借金である市債残高が増える中で、将来世代の負担をどのように考えているのか。

### 答弁

事業の優先順位や内容の見直し、財源の活用も考慮の上、事業実施時期を検討するなどの抑制を行っている。また、予定している事業は安全・安心の確保に加えて将来世代の希望のためとも考えている。起債の償還年数を平準化することにより、将来世代の適切な負担を考えている。



財政見通し(市債残高と公債費の推移)  
単位:百万円



## ■行政経営について

### 質問

市長の考える高砂の「智」を結集する行政経営について、限られた財源の中で工夫のある行政経営を行うために、市職員及び市民の方々の知恵を結集する仕組みについて伺いたい。

### 答弁

人材育成に努めるとともに、内部での情報共有やコミュニケーション活性化など組織風土改革と組織基盤強化に努める。また、部門外からの意見も職員提案等で募集し、これまで以上に職員の知恵と工夫が反映できるようにする。さらに市民はもちろん、市と関わりのある関係団体や法人などの提言を受けていきたい。

